



校訓
教育目標

「自立」「共生」「創造」
自ら学び人とつながりともに未来を創る

三とせの月目

「西陵中学校便り」

第1号 令和8年4月6日

ホームページはこちらから⇒



地域、保護者の皆様と共に、今年度も一歩前進します

校長 駒場 秀剛

日ごとに増す温かな陽射しが、一面を覆いつくしていた白銀を溶かし、時折吹く風が力強い大地の香りを運び、春の訪れが感じられる季節となりました。

本校では、2名の新たな職員が加わり、34名の新入生を迎えて、全校生徒115名、教職員23名で新年度をスタートしました。校舎に帰ってきた子どもたちの、快活な声や姿は、静かだった校舎に活気を吹き込み、新学期への意欲をわき起こしてくれます。午前中に行われた始業式では、3年生は全校のリーダーとしての覚悟が、2年生は新入生の見本を示す先輩としての気構えが感じられ、たくましく感じました。

1年生は期待と不安を胸に入学式を迎えたことと思います。1年生には、今感じている「ワクワク」と「ドキドキ」を大切にしてほしいと願っています。「ワクワク」や「ドキドキ」は学びの原動力です。それがあから、発見や成功に喜びを感じることができます。早く中学校生活に慣れてほしい一方で、「ワクワク」と「ドキドキ」をいつまでも忘れないでほしいものです。

さて、激しく社会状況の変化する今日、学校教育にも様々な改革が求められています。文科省や道教委からの指示・指令が矢継ぎ早に届き、それらを本校の教育活動にどう生かしていくべきか、頭を悩ます毎日です。ただ、「子どもがいて、支える保護者がいて、見守る地域があって、教える教職員がいて」学校教育が成り立つということに変わりはありません。

本校では、教育目標『自ら学び、人とつながり、ともに未来を創る』の実現のため、教職員自らが率先して指導を見直し、子どもたちとの時間を有意義なものにしていこうと努めています。今年度は、「自ら考え、判断し、行動する機会」「自他のよさを認め合い、高めあう機会」「よりよい社会の創造に挑戦する機会」を教科や行事、総合的な学習の時間等様々な活動の中で作り、子どもたち一人一人が『主体的な学びの構え』を培い、「知・徳・体」のバランスの取れた成長を図り、未来社会を生き抜く力、社会に貢献できる力を育みたいと考えます。そのためには、繰り返しとなりますが、保護者、地域の皆様と情報を共有しながら、連携して指導に当たることが必要です。また、小学校との連携を一層深め、義務教育9年間を通して「自立する」子どもたちを育て、次のステージに送り出したいと考えております。

本校の教育が更に充実、発展していくために変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。

転入職員のお知らせ

4月1日付で、本校に転入した職員をお知らせします。

○● ● ● ● 教諭
銭函中学校から転入

○● ● ● ● 養護教諭
山の手小学校から転入

令和8年度 西陵中学校職員体制

本校では本年度、2名の職員を迎えました。本年度は教職員定数の関係で、昨年より2名減の職員で教育活動に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

校長 駒場 秀剛 教頭 ●●●●●
1年1組 担任 ●●●●● (全学年国語)
1年 副担任 ●●●●● (全学年理科)
1年 副担任 ●●●●● (小学校理科)
2年1組 担任 ●●●●● (2・3年社会)
2年 副担任 ●●●●● (全学年保健体育)
3年1組 担任 ●●●●● (1・3年英語)
3年2組 担任 ●●●●● (2・3年数学)
3年 副担任 ●●●●●
(全学年家庭科・1年数学)
サポート1担任 ●●●●● (全学年音楽)
サポート2担任 ●●●●● (1年社会)
サポート2担任 ●●●●● (2年英語)
サポート副担任 ●●●●● (全学年美術)

養護教諭 ●●●●● ・ ●●●●●
事務職員 ●●●●●
図書館司書 ●●●●●
用務員 ●●●●● 支援員 ●●●●●
ALT ●●●●●
給食配膳員 ●●●●●
技術専科教諭 ●●●●●

4月のSC(スクールカウンセラー)来校日

SCは本年度も、引き続き●●●●●先生が着任します。4月17日(金)から面談が始まります。生徒はもちろん、保護者の方の相談もできます。相談の申し込みについては、担任もしくは学校(教頭 23-4204)までご連絡ください。

本年度の各教科の評価について(重要)

昨年度1・2年生(本年度の2・3年生)の保護者の皆様向けの、「評価システムの改善に向けた保護者説明会」や文書配付等で標記についてお知らせしておりました。

本年度からいよいよ実施となります。通知表の発行は年2回、前期・後期に分けてお知らせします。各教科では单元テストを行うなどしながら、きめ細やかに評価を蓄積し積み上げていきます。

留意していただきたい点として、10月に出す前期の評定が、私立高校の推薦入試等の内申点となることです。これまでは、12月の2学期評定が内申点になっていましたので、「1学期の成績が思わしくなかったから、2学期頑張ろう」と考えることができましたが、これからはできなくなります。そのため、計画的に考えて学習する必要があります。いずれにせよ、日々の授業での学習活動が、各単元の評価につながり、評定となっていきますので、1日1日を大切にしながら学力を定着させてほしいと思います。

養護教諭2名体制は、本年度も継続します

本校では今年度も継続して、養護教諭2名体制を継続できることとなりました。養護教諭の複数配置により、傷病対応をはじめ、悩みを抱える生徒の心のケアなど、きめ細かな対応に努めてまいります。養護教諭に限らず、困りごとや不安がある時に、いつでも先生や学校にいる大人に相談できる体制を整えております。子どもたちの安心・安全な学校生活のために、小さなことでも気になりましたら遠慮なく学校(23-4204)までご連絡いただきますようお願いいたします。